

第2学年道徳科「すてきポイントを見付けて、なりたい3年生の姿を考えよう！」

学習指導者 井下 修一

自分が思うすてきな人と、その理由を交流することで、すてきポイント（すてきな人のよさ）がいくつもあることに気付いた子供たちは、「すてきな人のよさを取り入れれば、なりたい自分になれる」と感じ、登場人物の言動から親切にするとはどういうことなのかなど考え、「いろいろなすてきポイントを見付けて、なりたい3年生の姿を考えよう」と単元の目標を設定しました。

「公園のおにごっこ」には、どんなすてきポイントがあるのかな ～「公園のおにごっこ」【B親切、思いやり】～

【見通し】

前時見付けたすてきポイントと大切にしたいと思ったことを振り返りました。次に、年下で足の不自由な人に鬼ごっこに入れてと言われたらどうするか考えることで、教材への興味を高め、本時の目標を設定しました。そして、「今日もすてきポイントが見付かると、なりたい3年生の姿が考えられそうだ」と意欲を高めました。その後、前時までと同じように、「すてきだと思った理由を考える」「自分にも似た経験があるか考える」「友達の考えと比べて考える」の学び方を使って解決していこうと見通しをもちました。



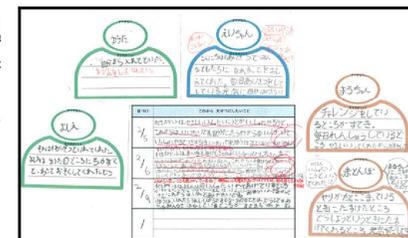
【行動】

教師の範読を聞いた後、ワークシートにすてきポイントを記述しました。自由交流では、「どうして〇〇がすてきだと思ったの」と尋ね合うことで、自分の経験とつないで、理由を考えました。全体交流では、年下で足の不自由なゆうたのことを考えた行為でも、ゆうたの笑顔につながらない行為があることに気付きました。そして、鬼ごっこを辞めたゆうたを見てどんな話合いをしたかのロールプレイをすることで、相手が本当に喜ぶ行為は何かを考え、親切にする事の大切さに気付きました。



【振り返り】

「よしえの、年下で足が不自由な人にも、『一緒にしよう』と声を掛けた優しいところ」や「しんじが、なぜゆうたが辞めてしまったのかと相手の気持ちを考えているところ」などと、親切に対する思いを振り返り、特に自分が大切にしたいと思ったことについて友達と交流しました。その後、自分が選んだすてきポイントを手掛かりに、これから大切にしたいことを考え、シートに記述し、蓄積していました。



成果と課題

○すてきポイントを見付けるよさが実感できており、目的意識をもって本時の学習に臨むことができていた。教材の登場人物のすてきポイントを見付け、理由を考えることで、「自分だったら」と自己とつないで考える姿が見られた。

▲相手が本当に喜ぶ行為は何かを考え、親切にする事の大切さを十分に感じられていない子供がいた。道徳的な価値に迫るところにもっと時間をかけたり、ロールプレイの際に考える部分を焦点化したりする必要があったのではないか。